

Information

2025 年度 入職医師紹介

整形外科

すずかわ よしと
鈴木 慶人 医師

千葉大学
2023 年卒
2025 年 4 月就任

外科

えがわ ゆみ
江川 由美 医師

国際医療福祉大学
2023 年卒
2025 年 4 月就任

泌尿器科

しまだ ゆうき
島田 悠希 医師

琉球大学
2015 年卒
2025 年 4 月就任

泌尿器科

ささご かなえ
笹子 叶 医師

島根大学
2023 年卒
2025 年 4 月就任

麻酔科

ながの たかし
長野 峻志 医師

島根大学
2016 年卒
2025 年 4 月就任

整形外科

むろたに れんたろう
室谷 錬太郎 医師

順天堂大学
1997 年卒
2025 年 7 月就任

制服廃止のお知らせ

2025 年 4 月より事務部の制服が廃止となりました。ご用の際はネクストラップ（右画像）をつけたスタッフが対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。



医療法人社団 誠馨会

千葉中央メディカルセンター

〒264-0017 千葉県千葉市若葉区加曾利町1835-1

☎043-232-3691

後期高齢者医療制度の
資格確認書送付のお知らせ

2025 年 8 月 1 日から使用する後期高齢者医療制度の資格確認書が送付されます。資格確認書は 7 月中に市（区）町村から送付されますので、ご確認ください。



新しい資格確認書

詳細はこちら



千葉中央メディカルセンター

検索



医療法人社団 誠馨会

千葉中央メディカルセンター
ニュース 第 93 号

発刊：2025.7.20

編集：CCMC 広報委員会

1 面：（特集）循環器内科 2 面：褥瘡対策委員会 3 面：選定療養費に関する Q & A 4 面：Information

特集： 地域の皆さまへ ～カテーテルアブレーション治療の歩みとこれから～

当院では 2021 年春より、頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療を開始いたしました。限られた体制の中でのスタートでしたが、「患者さんの苦痛をできるだけ減らし、安全なカテーテルアブレーション治療を提供する」をモットーに、治療に携わる多くのスタッフの協力と成長に支えられ、2025 年 6 月までに延べ 82 例の治療を行うことができました。症例数としてはまだまだ発展途上ではあるものの、これまで一度も重大な合併症を起こすことなく安全に治療を積み重ねてこられたことは私たちも誇りとしていいのではと考えております。また本年春には最先端のカテーテル治療機材も導入することができ、すでに稼働させている 320 列 CT と合わせて、正確かつ安全なカテーテルアブレーション治療を行う体制を強化することができました。



リニューアル工事後の血管造影室

現在当院では、心房細動、心房粗動、上室性頻拍といった「心房性頻脈性不整脈」に対してカテーテルアブレーションを実施しています。不整脈にはさまざまな種類があり、命に関わるものもありますが、それ以上に「生命に直結するわけでは

循環器内科

金村 俊

ないが、日常生活に支障をきたす」タイプの不整脈に悩まされている方が多いと感じています。



アブレーション中の様子

「これまで元気に過ごせていたのに、不整脈をきっかけに動機や息切れが出て今まで通りの生活を送るのが辛い。」「自覚症状はないけれど、健康診断で不整脈を指摘されてしまった。どうしたらいいのだろう。」「最近、急に胸がドキドキして苦しくなる時がある。」「脈が乱れている時がある。」こうした症状でお困りの方は、どうぞお気軽にご相談ください。不整脈の治療には薬による治療や経過観察など、さまざまな選択肢があります。カテーテルアブレーションはその一つにすぎませんが、診察を通じて患者さん一人ひとりの生活背景やお悩みに寄り添いながら、最適な治療方針を一緒に考えてまいります。

今後も、不整脈に悩む地域の皆さまに、より安全で効果的な医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

院内活動のご紹介 ～患者さんの皮膚を守る褥瘡対策チームの取り組み～

褥瘡対策委員会

皆さんこんにちは。当院には、褥瘡（じょくそう）の予防と、できてしまった褥瘡を治すことを目標に活動している「褥瘡対策チーム」があります。今回は、この「褥瘡対策チーム」の紹介をしたいと思います。

● 褥瘡とは？

褥瘡は、寝たきりなどの動けない状態が続き、皮膚の同じ部位に長時間の圧迫が加わることでできる傷のことです。いわゆる「床ずれ」と呼ばれます。



● 当院の取り組み

当院では入院患者さん全員に対して「褥瘡ができる可能性があるか」を定期的に調べています。活動量が低下した患者さん、ベッド上での安静が長く続いている患者さんなど、褥瘡がしやすい患者さんを見つけ出す仕組みを整えており、早めに褥瘡予防ケアが始められるようにしています。また、すでに褥瘡がある患者さんに対しては、褥瘡が悪化しないようにするためのケアを進めています。

さらに当院には、多職種で構成される褥瘡対策チームがあります。定期的に集まり、院内の褥瘡対策について意見交換をすることで、より良い褥瘡ケアの提供に努めています。

● 褥瘡対策チームのメンバー

褥瘡対策チームは、医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、病棟看護師、外来看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床工学技士で構成されています。

● 褥瘡回診

体の深い組織を損傷するような重い褥瘡があり、より専門的なケアを必要とする患者さんに対して、毎週金曜日に褥瘡回診を行っています。褥瘡回診では褥瘡の早期治癒に向けて、褥瘡対策チームで患者さんを観察し、各職種の目線から意見を出し合い、患者さんの個別性に合わせたケアに繋がります。また患者さんに一番近く、ケアを実践する機会の多い病棟看護師へ指導を行ったり、相談を受けたりしています。適切な軟膏やテープ、ガーゼの種類、経腸栄養剤の選択もしています。また、どうしたら褥瘡が悪化せずに安楽な姿勢が保てるかなども考えています。

● 褥瘡対策委員会

毎月開催される褥瘡対策委員会では、褥瘡発生率などを確認して院内の褥瘡対策に関する問題点について話し合います。また、褥瘡が治るまでに時間がかかった患者さんや、多職種での連携ができ早期治癒に至った患者さんなどについても報告し合っています。振り返り、意見交換をすることで研鑽の場としています。

褥瘡ケアや当院の褥瘡対策に関する取り組みについてご質問がある場合は、担当医や看護師にお声がけください。

またストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造設し退院した皆さんのお困りごとについても、ストーマケアや褥瘡などスキンケアに専門的知識と技術を持った皮膚・排泄ケア認定看護師が対応できる場合があります。詳しくは担当医や看護師にお問い合わせください。（文責：看護部長 新井玲子）



選定療養費に関する Q & A

Q1 選定療養費とは何ですか？

A. 「初期の治療は地域の医院・診療所・クリニックなどで、高度・専門医療は200床以上の病院で行う」という、医療機関の機能分担の推進を目的として国により定められた制度で、紹介状を持たずに初診で受診した場合に、患者さんにご負担いただく費用です。徴収が義務付けられている医療機関では選定療養費が発生します。

Q2 別の医療機関へ紹介されたら、もう受診できませんか？

A. 当院は地域の急性期（病気やケガの発症から症状が安定するまでの期間）の治療や、高度な医療による治療を担当しています。紹介先（通院している）医療機関の医師とご相談いただき、当院での治療が必要と判断された場合には、当院宛の紹介状を準備いただければ、選定療養費がかかることなく受診できます。しかし、紹介状がなく、ご本人の希望による場合は、受診の都度、再診時選定療養費をお支払いいただきます。

Q4 どのような場合に支払うのですか？

A. **初診時選定療養費**は、紹介状を持たずに初診で受診した場合にお支払い頂きます。

例：「当院を初めて受診する」「当院を受診したことがあるが治療が終了している」

「患者さんが任意で治療を中断した後に、再度受診する」

再診時選定療養費は、当院の主治医から、他医療機関への文書による紹介を行う申し出をしたが、患者さんの希望で当院を継続受診する場合に、受診の都度、お支払い頂きます。

< **料金は、初診時選定療養費：7,700 円(税込)、再診時選定療養費：3,300 円(税込)** >

Q5 初診時選定療養費を負担する必要のない場合がありますか？

A. 以下に該当する方は、初診時選定療養費の対象外となります

- ① 他の医療機関からの紹介状を持参した場合
- ② 救急車で搬送など救急受診した場合（緊急性がないと判断された場合を除く）
- ③ 国の公費負担医療制度の対象である場合（子供受給者証、ひとり親受給者証は除く）
- ④ 当院の人間ドックや健診の結果により精密検査の指示を受けた場合
- ⑤ 生活保護を受けている場合
- ⑥ 自賠責保険、労災保険で受診した場合